

北朝鮮の核実験について（声明）

平成21年5月26日

原子力委員会

1. 今日、核軍縮に対する国際世論がこれまでになく高まっているにもかかわらず、昨日（5月25日）、北朝鮮が核実験を実施した旨の発表を行ったことは、こうした国際社会の動きに逆行し、圧倒的多数の国からの支持が示された国連決議「核兵器の全面的廃絶に向けた新たな決意」（平成20年12月、第63回国連総会）や核兵器の究極的廃絶を希求する我が国国民の願いを無視するものであり、極めて遺憾である。
2. 原子力委員会は、人類社会の福祉の向上と国民生活の水準向上を目指す原子力の研究、開発及び利用を推進するためには、核軍縮の推進と国際的な核不拡散体制の維持・強化が必要不可欠であると一貫して主張し、国際連合、国際原子力機関等における国際的な核不拡散体制の維持・強化のための取組を支持するとともに、その推進の一翼を担ってきている。
3. 今回の北朝鮮の核実験は、核軍縮・核不拡散に関するこうした取組に打撃を与えるものであり、断じて許されない。当委員会としては、国際社会がこれにひるむことなく核軍縮への取組を着実に推し進めることを期待するとともに、北朝鮮に対して、核兵器開発計画を即時に放棄して国際的な核不拡散体制に速やかに復帰し、その下で原子力の平和利用に徹することを強く求める。